

日 時 令和7年8月5日（火）

午後1時15分～2時54分

場 所 都庁第二本庁舎5階 5B会議室

令和6年度 第6回都立公園等指定管理者評価委員会

速記録

○澤松制度調整担当課長 それでは、定刻となりましたので、ただいまより第6回都立公園等指定管理者評価委員会を開催いたします。

お忙しい中、お時間をいただきましてありがとうございます。事務局を務める、公園緑地部制度調整担当課長の澤松でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、各施設の二次評価につきまして、ご審議、ご検討いただきまして、委員会として二次評価を決定する場となります。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、菊池委員がご欠席となります。また、金子委員と茶田委員におかれましては、オンラインでご参加をいただいております、途中でご退席される可能性がございますので、ご了承いただければと思います。

それでは、最初に資料を確認させていただきます。

まず、本日の「次第」と「座席表」をお配りしております。次に、二次評価に関する資料としまして、資料1「事業者の健全性・財務状況に対する評価シート」、資料2「二次評価（案）一覧表」、資料3「二次評価シート（案）」をお配りしております。

そのほか参考資料として、「一次評価シート」「利用者アンケート結果一覧」「入園者数まとめ」「事業報告書」をタブレットに格納してございますので、必要に応じてご覧いただければと思います。

では、各資料についてご説明いたします。

まず、資料1をご覧ください。この資料は、公認会計士である茶田委員に作成をお願いし、各事業者の財務状況について評価していただきました。評価内容につきましては、後ほど茶田委員からご説明をいただきたいと思いますと考えてございます。

次に、資料2をご覧ください。各施設の評価案を一覧表にしたものになります。今回は委員全員の評価が一致してございますので、そのまま二次評価案として記載しております。

続いて、資料3「二次総合評価シート（案）」をご覧ください。資料3は、各委員のご意見を取りまとめ、二次評価案としてまとめてございます。各委員の皆様からいただいた貴重なご意見につきましては、二次評価の内容への反映の有無を問わず、全てのご意見を指定管理者への評価結果通知の際に、事務局から指定管理者へお伝えいたします。

本日は、各施設の「S」「A」「B」「C」などの評価結果及び評価コメントについてご審議いただき、二次評価として決定していただきたいと思いますと考えております。

それでは、本日の評価委員会の進め方についてご説明いたします。次第にありますとおり、まず各指定管理者の財務状況についてご確認をいただき、次にグループごとに各施設

の二次評価と評価コメントをご審議いただき、二次評価を決定していくという流れで進めたいと思います。

なお、本日は菊池委員がご欠席でございますが、二次評価については、本日の委員会の結論に委ねるとの意向を伺っております。

それでは、この後の進行は浦田委員長をお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、次第に従いまして議事を進めてまいりたいと思います。よろしくをお願いします。

まず最初に、資料1によりまして、各指定管理者の事業者の財務状況の分析結果について茶田委員からご報告をいただく前に、事務局から明治公園の説明をお願いします。

(事務局から明治公園の財務分析について説明)

○浦田委員長 本題に入りまして、茶田先生からご説明をお願いします。

(茶田委員から財務状況の分析結果について報告)

○浦田委員長 それでは、二次評価の審議に移りたいと思います。

これから後の議事は公開ということになりますので、議事概要については後日公開となります。

それでは、事前に申込みのあった傍聴希望者が入室しますので、しばらくお待ちください。

(傍聴者入室)

○浦田委員長 それでは各施設の二次評価の審議に移りたいと思います。

まず初めに、事務局から説明をお願いいたします。

○澤松制度調整担当課長 二次評価のご審議に当たりまして、先ほど申し上げたとおり、資料3「二次総合評価シート(案)」に事前にご提出いただいた各グループに対するご意見を反映しております。

荻原先生から全体に係る評価の考え方についてご意見をいただいておりますので、審議に先立ち、ご紹介させていただきたいと思います。

先生、よろしくお願いいたします。

○荻原委員 特に市民参加について、どういう指標で評価したかというもののご説明をしたいと思っております。

市民参加とか市民共同の公園運営というのをずっとやってきているので、私たちの分野で言えば参加の階段といたしますか、そういう言い方もするんですけど、段階をつくって、もちろん人によって違うと思いますけれども、第1段階が意見を言う、意見をもらう、アンケートとかヒアリングでどうでしょうかという評価、意見をもらうという。

それから、第2段階が話し合いをする。パークミーティングというのをこちらではやるよにということで、都からも言われているようですけれども、話し合いに参加していく、地域の方が話し合いに参加する。

それから、第3段階では何かボランティアとして手伝っていく、汗を一緒に流す。もちろんボランティアから入ってくるという方もたくさんいらっしゃると思います。

それから、第4段階で、それをもう一段上がって企画に自分が参加していく。イベントで今度は何をやるのかとか、そういう今度こんな場所をもっとこういうふうにしたらいねとかという企画を、一緒に汗を流しながらイベント等を考える。

第5段階としては、それがもっともっと市民の方も参加する方もスキルアップして、パートナー的な存在になって、そのところをお任せして自分たちでやれるようになっていく、自立していく。そういう段階を考えて、私たち公園計画者としては、第1段階で意見を聞く等、簡単なところから入った方も、だんだん階段を上るように運営者側と協働関係をつくっていくところに持っていくということを心がけてきておりまして、そういう意味で、こちらの評価をするときもそういう指標をつくって評価をしております。

パークミーティング等をやるときも、何か意見を言ってくださいという苦情が来ちゃう場合もあるんですけども、そうじゃなくて、あったらいい的な感じで何がしたいですかとか、それから、どういうことを地域で困っていますかというところからうまくファシリテーションといたしますか、引き出して、公園でこんなことをしてみましようとか、そういうふうにパークミーティングの中で持っていく、参加の先に持っていくという気持ちを持って、参加の段階を上げていくような公園運営がされるといいなと思っております。

それによって、職員の数に対し、都民協働でより多くの企画や場づくりが実現するという意味では、費用対効果が上がります。

それから、2番目には、地域の方が、こういうものが、こういう場が欲しいとか、課題も出しながら、特に子供の遊び場ですとか、孤立化していくお年寄りの問題ですとか、地域でもっと社会をよくしていくために公園というのは非常に大きな社会資源で、それを使ってもっとみんなが幸せになる社会をつくるみたいなことは、なかなか職員の発想だけで

はできないというところで、そういうものを引き出してそれをサポートしていくというようなことで、かなり地域にとって重要な公園になってくると考えております。

今まで指定管理者の評価でいろいろと見てきて、そこら辺の指標が、何をやったら褒められるのが指定管理者さんもよく分からないので、どうしても勢いで、年に1回どかんと大きいイベントをやって盛り上げて何万人が来ました、そこにこんなにたくさんの団体関わって何万人のイベントをやりましたというのが褒められるのかなというので、コロナ前は一生懸命競うようにそれをやっている時期がありました。コロナ以降は、もっと生活や日常を変えていくような公園を目指し、例えば防災公園でも、防災だけでなく、サードプレイスとして活用できるような居場所づくりといった話が出てきましたが、今年度あたりはそういう話もなくなってきた。管理者さんもなかなか指標が見えてこない、どうしてもイベントに走るくらいがあるのかもしれないと感じておりまして、私はそういう指標をつくって評価をしました。

以上です。

○澤松制度調整担当課長 荻原先生、ありがとうございます。

公園運営に参考とすべき点や、評価に反映できるのか、それが指定管理者にも方向性とかが伝わっているのか等のご指摘もありましたので、また内部でも、議論を重ねて、何らかの形にできるようなものがあれば、それはそのときにまた委員の皆様にご報告、ご説明という形をさせていただければと思いますが、こちらは参考として受け取らせていただきますので、誠にありがとうございました。

○荻原委員 ありがとうございます。

○浦田委員長 確かに今の評価の仕組みだと、イベントをたくさんやりましたというのが割と加点要素になる傾向にあるので、こういう視点でちゃんと見ていかないといけないということではありますけど、だからそこまで少し丁寧に報告書に書いてもらえれば、評価をもうちょっと深くできるのかもしれないけど、今のところ、こんなイベントをやりましたというような報告書にとどまっているので、そこはもう少し事業報告の段階でも少し書き込んでもらえればということですかね。ありがとうございます。

それでは、次に、各グループの審議に移りたいと思います。

それでは、順番に行きたいと思います。

まずは、東部グループの二次評価案の説明をお願いします。

○事務局 資料3の「二次評価シート（案）」の1ページ目をご覧ください。委員の皆様

の評価は一致しておりまして、猿江恩賜公園、尾久の原公園、大島小松川公園、宇喜田公園がA評価でございまして、そのほかはB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体への意見として、パークミーティング等の働きかけにより、都民協働の企画が育っていることなど、ご意見をいただいております、評価コメントに反映してございます。

東部グループの説明は以上となります。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、東部グループについて、ご意見等がありましたらということなんですけれども、いかがでしょうか。特によろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、東部グループについては、この委員会としてはこの評価案ということで行きたいと思えます。

それでは、次に、南部グループに移りたいと思えます。

南部グループの説明をお願いします。

○事務局 2ページ目をご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、日比谷公園がS評価、青山公園がB評価でございまして、そのほかはA評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体への意見として、文化的レガシーや環境を持つ公園の特性を生かし、市民参加型の特色ある企画を創出していること。

青山公園について、バイオネストの新設だけでなく、各種団体と協力した様々な取組への評価。

蘆花恒春園については、安全性向上の観点での取組への評価など、ご意見をいただいております、評価コメントに反映してございます。

南部グループの説明は以上でございまして。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、南部グループについて何か付け加えるようなご意見はございませんでしょうか。評点もよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、北部グループの説明をお願いします。

○事務局 3ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、戸山公園がS評価、大泉中央公園がB評価でございまして、そのほかはA評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体として、地域参加によるユニークな企画を創出した点に対する評価。

高井戸公園について、開園後の新しい取組に対する評価。

浮間公園について、チューリップを核とした地域主体の取組や猛暑時における公園利用者の減少対策への取組。

練馬城址公園について、多様なコミュニティと連携し、実施したイベントへの評価など、ご意見をいただいております、評価コメントに反映してございます。

北部グループの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、北部グループについて何か付け加えることなどがございましたら、ご発言をお願いします。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、北部グループもこれで終わりということで、次が武蔵野の公園グループ、説明をお願いします。

○事務局 4ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しております、武蔵野公園、野川公園、武蔵国分寺公園がA評価、そのほかはB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体として、都民参加型企画の拡大への期待。

浅間山公園について、パークミーティングを契機とした様々な主体との共同イベント実施等に対する強化など、ご意見をいただいております、コメントに反映してございます。

武蔵野の公園グループの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、武蔵野の公園グループについて、ご意見がございましたらお願いいたします。特によろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、次は、多摩部の公園グループです。

○事務局 5ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しております、陵南公園、小宮公園がA評価、そのほかはB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体として、イベント継続実施に向けた利用者との協働運営体制構築への期待など、ご意見をいただいております、コメントに反映してございます。

多摩部の公園グループの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、多摩部の公園グループについて、ご意見がございましたらお願いいたします。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、次は、狭山丘陵グループに移りたいと思います。

○事務局 6ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、狭山公園、野山北・六道山公園がS評価、そのほかはB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体として、都民協働の公園運営体制構築への期待。

狭山公園と東大和公園については、自然環境を生かした遊び場イベント実施への評価と他公園の展開への期待。

八国山緑地について、倒木事故を受け、安全性の確保に努めたことへの評価。

中藤公園については、リンドウ、オオバギボウシ、アカマツの実生など、管理の成果に対する評価など、ご意見をいただいております、コメントに反映してございます。

狭山丘陵グループの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 武蔵野の公園グループと多摩部の公園グループと狭山丘陵グループは指定管理者が一緒ですけれども、一番ナラ枯れのひどかったところの、ナラ枯れの対策が一定程度終わり、これからもう一度、樹林の再生に移るとい、そういうステップに来ているので、もう既に取りかかっていると思いますけれども、それをこれから一生懸命やっていたくという、そういう段階にあるということになります。

それでは、この狭山丘陵グループについてもよろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、多摩丘陵グループ。

○事務局 7ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、桜ヶ丘公園がA評価、そのほかはB評価となっております。

コメントにつきましては、平山城址公園について、ため池整備によるヒメアカネの飛来等、管理運営における成果に対する評価。

桜ヶ丘公園について、アプリを活用した市民参加型調査への評価とノウハウ確立への期待など、ご意見をいただいております、評価コメントに反映しております。

多摩丘陵グループの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 ありがとうございます。

多摩丘陵グループについては、何か追加的なご意見とかはございますでしょうか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 では、この案で行きたいと思います。



次に大神山公園の評価シートの説明をお願いします。

○事務局 8ページをご覧ください。皆様の評価は一致しておりまして、S評価となっております。

コメントにつきましては、マイクロプラスチック削減運動について参加が拡大していることへの評価など、ご意見をいただいておりますので、コメントに反映してございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 大神山は気候条件がこれだけ違うというか、亜熱帯なので、それで樹木点検アプリの活用というところが新しい取組かなと思いますけれども。

あと、やっぱり気候条件が違うので、病虫害とか全然ほかの都立公園と全く状況が違うので、そういうデータの蓄積をちゃんとしていくといいかなというのと、日本でほかの東京都じゃないところでいうと、沖縄とかとある意味で同じ要素があるので、沖縄のそういう病虫害のデータの蓄積とかは向こうは向こうであるので、そういうのを少しこれから情報交換してもらえると活きるかなという感じがしております。

そのほかはいかがですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、次が防災公園グループということで、説明をお願いします。

○事務局 9ページ及び10ページをご覧ください。皆様の評価は一致しておりまして、S評価が代々木公園、舎人公園、葛西臨海公園の三つでございます。

次に、A評価としましては、東白鬚公園、木場公園、砧公園、和田堀公園、汐入公園、城北中央公園、光が丘公園、水元公園、篠崎公園、府中の森公園、小金井公園、東村山中央公園でございまして、そのほかはB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体といたしまして、大規模救出救助活動拠点とされていることを踏まえた実践的な取組への期待、都心部における都民参加型企画の拡大への期待がご意見としていただいております。

個別の公園につきましては、和田堀公園については、開園60周年イベントに対する評価、光が丘公園については、地域団体と連携したイベント等の実施への評価、葛西臨海公園につきましては、公園を核としたコミュニティ形成や地域活性化への貢献。

武蔵野中央公園については、地域住民等が主体的に関わることができるガーデニングショーへの評価。

府中の森公園については、様々な防災の取組に対する評価。

武蔵野の森公園については、「絵本と歌の庭」「蝶のガーデン」づくり等、継続的に都民に関わり、連携や人材育成拡大が期待できる取組について。

小金井公園については、パークミーティングを踏まえ、様々なプログラムを展開したことへの評価。

東村山中央公園については、パークミーティングをきっかけにコミュニティ参加による取組を拡大していること。

東大和南公園については、ボランティアと協働した戦争遺跡を生かした体験教育プログラムの実施についてなど、各種ご意見をいただきまして評価コメントに反映してございます。

防災公園グループの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長　ありがとうございます。

それでは、防災公園グループで何か追加的なご意見がございましたら。

前に荻原さんがおっしゃっていたように、ここが一番主要な公園のグループなので、各委員からかなり細かくいろんな意見が出されています。

1点だけ、大規模救出救助活動拠点になっているところがあり、そこが普通の市区町村と連携した防災訓練だけだと、その機能が十分きちんと達成できるかどうかというところもあるので、一昨年から現地機動班と連携した訓練を始めていますが、それは非常に重要な取組かなと思います。それをさらに発展させていっていただきたいというのと、現在、東京臨海広域防災公園と防災公園グループの指定管理者が同じなので、うまく連携した取組とか、そういうところまで発展させてもらえればよろしいかなと思っております。

どうしても普通の区市町村との連携の訓練だけだと、防災訓練をしてそれで災害時に対する対応力を高めるとか、あるいは普及啓発とかというところまでは行くんだけど、本来、大規模救出救助活動拠点となると、もう少しワンランク上の役割ということになるので、それが本当にちゃんと発揮できるような形に持っていくようなことを、指定管理の段階でも検討して進めていただければと思います。

あと、イベントで訓練してみたいなことはすごく多いんですけど、それはそれで重要なことなだけで、その結果、一体それは本当に役に立っているのかどうかというところまではまだ計測できていないので、どうやってやるかというのを、アンケートを取るとか、何かそういうイベントをやった結果がちゃんと都民の防災活動に、あるいは防災意識の向上にこんなにちゃんと利いているというのが計測できれば非常にいいかなと思いますので、

少し研究してもらえないかなという。

○荻原委員 質問ですけど、都の中では防災に関わる部署というのはもちろんあるわけですよ。何かそういうところともつながってやっていたらいいんですかね。

○澤松制度調整担当課長 そうですね、先ほどの現地機動班訓練とかというのは、その部署も一緒に実施しています。

○荻原委員 もしそういう効果がどのくらいあるのかとか、そういうのは指定管理者の仕事ではなく、そういうところの部署の、都の仕事になるんでしょうか、やるとしたら。

○浦田委員長 何か危機管理部局で当然都民の防災意識がこれだけ高まっているというのは、調査する方法はあると思うんですけど、その中で公園がどれだけ役に立っているのというところを書き込めればいいかなという感じなんですかね。

○荻原委員 そういった訓練に参加したことがあるみたいな、そっち側の、そうですね、そういうのはあるんですかね。

○浦田委員長 参加者が増えていますよというだけでも、それはそれで大事なのかもしれませんけども、本当に防災意識が高まって行って、いざというときにちゃんと対応できるよう、役に立っているということであればいいんですけどね。

○荻原委員 ちょっと話が広がっちゃいますけど、今まででしたら、ほとんど町内会単位で防災というのは考えて、訓練をやっていたんですけど、今、町内会の役割が変化しつつあり、入っていない人たちがどういうふうに防災に関わるかというのをどういうところで仕掛けられるかというのが、公園が考えることなのか、それとも違うセクションが考えるのかは分からないんですけど、そういう意味では、公園でサバイバルキャンプとか全然違う形のコミュニティづくりみたいなものもやっているところもあるので、PTA単位でサバイバルキャンプをやるみたいな感じで、アウトドアに絡めてプログラムをつくったりとか開発されているので、そういうのをどういう戦略でやっていくのか、危機管理セクションと一緒に防災公園グループさんが考えてプログラムを出して参加者を増やしていけるといいかもしれませんね。

○浦田委員長 それでは、評価はこれで行きたいと思いますが、ほかの委員の先生、よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、防災公園グループの評価はこれで行きたいと思います。

それでは、ここで一旦休憩を挟みたいと思います。14時15分に再開させていただき

ればと思いますので、よろしくお願いいたします。

(休憩：14時05分)

(再開：14時15分)

○浦田委員長 それでは、再開したいと思います。

次のグループ、文化財庭園グループの評価に移りたいと思います。説明をお願いします。

○事務局 11ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、小石川後樂園の3施設がS評価、次にA評価としましては、六義園、旧岩崎庭園、向島百花園、清澄庭園、旧古河庭園でございまして、殿ヶ谷戸庭園はB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体といたしまして、世界に誇る文化遺産としての庭園の見せ方や夜間イベントや四季に応じた演出といった新たな時代の楽しみ方等の創意工夫への評価のご意見をいただいております、コメントに反映してございます。

文化財庭園グループの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、文化財庭園グループについて何か追加的にご意見がございましたらお願いいたします。特によろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、次は、神代植物公園に移りたいと思います。神代植物公園について説明をお願いします。

○事務局 12ページでございます。委員の皆様の評価は一致しておりまして、A評価となっております。

評価コメントに直接反映しないものとして、伝統園芸植物の保存・継承に向けた関係各所との連携強化への期待、防災グループと連携した取組への期待などのご意見をいただいております。

神代植物公園の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 神代植物公園について何か追加するようなご意見はございますか。

○荻原委員 はい。

○浦田委員長 どうぞ。

○荻原委員 周辺のおそば屋さんなども入れたマップを作り、まちづくりといたしますか、地域活性化に貢献するような取組をされたということを評価します。

○浦田委員長 これ、植物園だから独立しているけど、公園としては防災公園グループの

一角をなすタイプの公園なんです。

6 大緑地の旧防空緑地の一つなので、あのグループの一部という感じの公園だから。だから、実際に防災に関する取組は報告書でもちゃんと書いてあると思うんですけど、そういう公園ですよ。

それでは、神代植物公園、何かありますか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、次は、夢の島公園・夢の島熱帯植物館です。

説明をお願いします。

○事務局 13 ページでございます。委員の皆様の評価は一致しておりまして、両施設ともにA評価となっております。

コメントにつきましては、夢の島熱帯植物館について、館内の展示等、デザインセンスの向上や広報活動強化による来園者数増加に対する評価など、ご記載いただいております、コメントに反映してございます。

両施設の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 何か追加的なご意見はございますか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、夢の島公園・夢の島熱帯植物館はこれで終わりたいと思います。

潮風公園・台場公園、説明をお願いします。

○事務局 14 ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、両施設ともB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体といたしまして、海浜地域との連携によるイベント等の展開に対する期待などのご意見をいただいております、コメントに反映してございます。

潮風公園・台場公園の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、潮風公園・台場公園について、追加的なご意見はございますか。

ここはだから、前から報告書の記述がやや物足りないという意見が大なり小なりある。要するにお台場海浜公園など、本体の海上公園があり、都民から見たら同じ一連の公園に見えるものの、潮風公園・台場公園のみは建設局の公園であるため、評価としてはこの分だけを取り出して評価する。全体が見えないから、どうしたらいいのかなと思っていたんですけど。

海上公園のところはもちろん我々の評価の対象じゃないんだけど、例えば、プレゼン等、報告するときに、海上公園全体と潮風公園・台場公園の位置づけが分かるような、説明をするなど、工夫してもらえると分かりやすいと思う。

ここだけを取り出すと、確かに書きづらいというか、その部分の維持管理をこうしましたとしか書けないから、それだけ見ても何かほかと比べて物足りない感じになるのは確かかなという、そういうところかなと思うんですけど。

菊池委員からは、大神山公園など、海に関連するグループと、この潮風公園・台場公園を結びつけるような意見をいただいている。

○荻原委員 アイデアがあったらちょっとメモをもらうとか、菊地委員に。私もそういうのを考えるのは好きだけど、考えてみたいみたいな。

○浦田委員長 潮風公園とかは、お台場海浜公園と別に柵があるわけでも何でもないですよ。何か境目があるんでしたっけ。

○大道公園計画担当部長 工事の動線確保のために少し道路に出なきゃいけないんですけど、できた暁にはつながります。

○澤松制度調整担当課長 一緒になる、そうですね。

○荻原委員 台場公園は、以前は歴史のことが書いてあったんですけど、最近はあまり触れなくなってきて、どうなんでしょうかね。

○大道公園計画担当部長 資源としては確かにそれが一つの売りにはするべきところでもありますのでね。

○荻原委員 何年か前までは展示をやっていますとか、バーチャル何とかをやっていますとあったけど、今回はあまり記載がなくて。

○浦田委員長 それでは、潮風公園・台場公園はこれで終わりたいと思います。

それでは、次は、横網町公園、説明をお願いします。

○事務局 評価としては、皆様、A評価となっております、コメントに直接反映しないものとして、ガイドやボランティア育成に向けた取組への期待など、ご意見をいただいております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、横網町公園、何か追加することはありますか。特によろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、東京臨海広域防災公園に移りたいと思います。説明をお願いします。

○事務局 16ページでございます。皆様の評価はB評価となっております。

評価コメントに直接反映しないものとして、防災公園グループ等と連携した防災機能強化への期待など、ご意見をいただいております。

東京臨海広域防災公園の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 ここは、何かご意見はございますか。

○荻原委員 浦田先生、連携したというのは例えばどういうイメージでしょうか。

○浦田委員長 要するに、ここは国営公園に引っ張られるので、そこがさっきの潮風公園・台場公園と同じように、どう関連しているのかというのが全然分からないからなんですけど。

国の公園のところでどういうことをしようとしているのかがあれば、それとの関連で、この都立公園のところがこうだという何か説明があって、それで防災公園グループの公園とのつながりもそれと関連してこうだという、そういうストーリーができれば非常に分かりやすい。しかも、要はせっかく同じ指定管理者になったので、同じ指定管理者が、異次元的に物を考えられる体制に今なっているから、何かできることがあるかないか。

あそこに内閣府のオペレーションルームがもともとあるが、それがどういうときにどう機能するかという訓練みたいなことは多分やっていないんだろうね。恐らく、ただあるだけの状態になっているのかな。

前は9月1日の防災の日の訓練をここでやったりしていたから、例えば年1回のやつはここでやって、それ以外のやつはほかの都立公園でやるとか、そういう何か分担関係ができれば、あくまで訓練の話だけだね。

○荻原委員 それもなかなか都の事業としてやらないと難しそうな気がしますけど、横の連携という話でもない。

○浦田委員長 都の話ではないので、多分やりづらい面はあるかもしれない。

○本木公園緑地部長 ただ、やはりそういう背景があつての管理なので、そういったところの評価はしないにしても、どういうことをやっているのかとか、そういうのは事業報告であげてもらうのもいいかもしれない。

○浦田委員長 東京臨海広域防災公園は以上で終わりにしたいと思います。

それでは、次は、明治公園。

○事務局 17ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、A評価となっております。

評価コメントに直接反映しないものとして、立地特性に対応した取組のさらなる発展、そしてP－PFI事業の利点を生かした公園の魅力向上や都民の文化育成につながる取組への期待など、ご意見をいただいております。

明治公園の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、明治公園について、何か追加的なところはありますか。

○荻原委員 ちょっと意見を付け加えさせていただいたんですけど、発表の中では指定管理者がいろいろ企画しているというのは分かったんですけど、そこに参加している商業者があまり何か公園にアプローチしている感じがちょっとよく見えなかったのも、一緒に考えていけば何か面白いイベントがこれからはできるのかなという期待を書いております。都としてはどのようなご意見でしょうか。

○本木公園緑地部長 これについては商業施設の売上げを還元するという仕組みになっていきますので、そういう意味では商業施設のイベント、例えばこの夏で言うともビールを売るような、そんなようなものを行ったりだとかしていますので、そういう意味では、通常の都立公園とは違った運用の仕方ができますので、先生がおっしゃるようにどんどん公園を盛り上げて、立地特性もああいう特性の場所ですので、いろいろ使い道というか、盛り上げ方というのはあるんじゃないかなと思います。

○荻原委員 そうですね。これからいろんな実験的なことをやれていくといいですね。

○本木公園緑地部長 あと、国立競技場で、これからまた世界陸上なり、明治公園も一体となってイベントが行われたりしていますので、イベントとしては動いている公園の一つですかね。

なかなか書いていない部分もありますが、今年度から結構動いているものや、昨年度もいろんなイベントをやっています。

○荻原委員 PFIの魅力とか効果を都民の方にどういう点でPRしていくかと、難しいとは思いますが、どういう視点で出していくのかなという、期待して見えています。

○本木公園緑地部長 ありがとうございます。

やはり我々が考えたものではない、民間の事業者さんが考えた公園利用者にとっていいサービスというか、そういったものを展開するようにしていますので。

例えば、明治公園で言うとサウナですかね。ああいうものはなかなか我々役人がいいん



じゃないかなんて入れにくいものですが、結構評価されていたりしますので、そういうソフト、ハードも含めて、いろんな取組ができる一つになっていますので、またちょっとぜひご来場いただきながら。

○荻原委員 行ってみます。

○本木公園緑地部長 ありがとうございます。

○浦田委員長 それでは、明治公園は以上で終わりたいと思います。

それでは、次は代々木公園です。説明をお願いします。

○事務局 18ページでございます。皆様の評価はB評価で一致してございます。

コメントに直接反映しないものとして、こちらもP-FI事業の利点を生かした公園の魅力向上と都民の文化育成につながる取組への期待をご意見としていただいております。

よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 ここはまだ6年度として見たら1か月か2か月のところなので、今年度から本格的ということで、これでよろしいかなと思います。

それでは、次は、日比谷公園大音楽堂です。

○事務局 19ページでございます。皆様の評価はA評価と一致してございます。

評価コメントにこちらも反映しないものとして、野音オープンデーについて実験的な企画・利用に向けたご提案のご意見をいただいております。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、ここは追加のご意見等はございますか。

○荻原委員 日比谷公園では、実験的にイヤホンで音を受け取るイベントというのをやっていらっしゃったので、ここでも何かそういうような利用とか、もう少し創意工夫で、今は平日は使っていないというようにお話をしたけど、せっかくの場所なので、もっと安くしてもいいから文化育成につながるような利用というのを広げていくといいんじゃないかなと思いました。

一つのアイデアとして、代々木公園でやっているようなイヤホンを使った音の配信で、演劇なり、そんなようなこともできるのかもしれないなと思いました。

○浦田委員長 よろしいですね。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、次は、都立動物園をお願いします。

○事務局 20ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しておりまして、恩賜上

野動物園、葛西臨海水族園はA評価、多摩動物公園、井の頭自然文化園はB評価となっております。

コメントにつきましては、グループ全体といたしまして、夜間開園等、利用者サービス向上への取組に対する評価、デザインコンセプトの工夫等による各施設の魅力向上への評価など、ご意見をいただいております、コメントに反映しております。

都立動物園の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、ご意見はございますか。よろしいですかね。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、次は、東京都霊園について、お願いします。

○事務局 21ページをご覧ください。委員の皆様の評価は一致しております、雑司ヶ谷霊園、八柱霊園がA評価、そのほかがB評価となっております。

コメントについては、八柱霊園について、来園者の安全確保や自然保全に関する取組への評価についてご意見をいただいております。

東京都霊園の説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、霊園について何か追加的なご意見はございますか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、東京都霊園はこれで終わりたいと思います。

最後に、瑞江葬儀所の説明をお願いいたします。

○事務局 22ページをご覧ください。委員の皆様の評価はA評価で一致しております。よろしくお願いいたします。

○浦田委員長 それでは、瑞江葬儀所については何か追加でございますか。よろしいですか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、全ての施設の二次評価についてはこれで決定をしたいと思えます。

それで、全体を通じて、今後に向けての何かご意見などがありましたら、お願いできますでしょうか。

○荻原委員 一つ、よろしいですか。

今日は、私がこういう指標でソフトについて評価を自分ではしましたというお話を初め

にしたんですけど、評価というのももちろんなんですが、なかなか評価だけでは伝わらないものといえますか、都の公園全体のスキルアップをしていくのに、いい、悪いという評価だけでなく、それがこの今やっている仕事とつながるのかどうか分からないんですけど、もう少し指定管理者さん同士がスキルを共有したり、一緒にいい部分は共有してお互いに向上し合うみたいな、何か仕掛けがあってもいいのかな。ばらばらといえますか、それぞれライバル関係にあったりもするもので、なかなか手の内は見せないぞという感じもあると思うんですけど、やっぱり都としたら、お互いに皆さんが持っている公園運営の中で磨いてきたスキルというのは都の財産でもあるので、それについては横にどうやって展開しながらお互いにそれを取り込んで工夫していただくような、うまいマッチングじゃないんですけど、伝達の役割というのを、この部署かどうか分かりませんが、やっていったほうが、都としては、都民としては、利益につながるんじゃないかなという気がいたします。

例えば、パークミーティングについても、こういうふうにもうまくいったみたいなのがないと、こんなことはやめてほしいといった意見だけで終わったみたいなのもパークミーティングといえばパークミーティングなわけで、何を目指してどういうパークミーティングをやったか。それは、指導するというよりは、ここではこうやってやったらこんな成果が上がったよとか、こういうことにつながったよといった共有をすると思います。

それから、ここでは、指定管理者さんは現場にいて見えているかどうか分かりませんが、地域の中で今とても、潜在的に公園活用に対するニーズというのは非常に高く、やっぱり公園の遊び場ですとか、高齢者の孤立対策とか、ソーシャルないろんな意味での公園を活用したらもっとこんなことができるのになという声なき声じゃないんですけど、いっぱいあると思うんですね。

ヨガ、ウェルネスのプログラムをやったらいいな、インストラクターの人もいっぱいいて、そういう方たちに有償でもいいから貸してあげれば、地域のウェルネスプログラムがすごく広がるとか、そういうパークコーディネートですかね、そういうのをやっぱり指定管理者さんがパークファシリテーションみたいな、そういうのをやっていただいて、地域の潜在的な力をどう引き出していくかということを検討してほしい。

うまくいっている公園もあるし、全然あまりそこに目を向けていない公園もあるので、やっぱりうまくやって、例えば浮間公園のチューリップの取組がどんどん広がって、地域活性化に貢献したといった、そういうプログラムごとにちょっといい例みたいなのを評価

して、インタビューで、こういうことをやって、こういうポイントでやったらこんなふうになりましたみたいなのがちよっとあると、これをまねすればいいんだみたいな感じで広がっていくと思います。

それこそ都のファシリテーションのスキルが問われるかとは思いますが、ちよっとうまくお互いにライバル心を燃やさせつつ、スキルアップをしていくというのを都としてはやっていかれたらいいかなという、そんな気がいたします。

○事務局 貴重なご意見をありがとうございます。

ちょうど各事例の共有の方法というのは、いろんな説明会の場とかもありますので、そういったところを活用しながらやっていくことを検討させていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○浦田委員長 あまり手の内をさらすのが嫌だというような感じじゃないような気はしますけどね。

○荻原委員 そうですね。

○荻原委員 私たちは、皆さんにすごく勉強させていただいて、報告会とかもいっぱいアイデアが詰まっているなと思って、すごく勉強させていただいているから、それは皆さん同士が共有できたらすばらしいなと思います。

○本木公園緑地部長 ちょっとまたやり方とかは考えてみたいと思います。ありがとうございます。

○浦田委員長 ほかにはございますでしょうか。よろしいですか。

○金子委員 1点、よろしいですか。

○浦田委員長 どうぞ。

○金子委員 金子です。すみません。評価、お疲れさまでした。よろしいでしょうか。

次年度以降に向けて感じたことを一つだけ申し上げておければと思います。

二次評価の評価コメントですけれども、冒頭にもありましたように、どうしてもイベント系の評価コメントが多くなってしまうというのが、これは年に1回ということと、あと事業報告書も、どうしてもそこから読み取れることはそういったことになってしまうので、やむを得ないと思うんですけれども、一つは維持管理面で、いろんな努力している点を評価できることがあったらコメントに表現できるような工夫がないかなということで、これは事業報告書ではなかなか読み取れないので、これは日常的に担当、都の方が接している中で読み取れることですので、そういったことで指定管理者の努力や工夫が感じたら、それ

をぜひ拾い上げていただきたいというのが1点。

それからもう一つは、指定管理者の管理費といいますか、経費節減の面等に関わるような努力ですよね。一つは経費節減をどんなところでしているかとか、あるいは収益を上げて還元しているような努力をしているところがあるかと思いますので、そういったところをうまく拾い上げて、評価できるところはそういったことを、点数にはなかなか評価が現れないと思うんですけど、コメントで少し評価できるようなことがあればいいなというふうに感じました。

以上です。

○浦田委員長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

○浦田委員長 それでは、各施設の二次評価については、以上とさせていただきたいと思います。

委員の皆様、大変お疲れさまでした。

傍聴人の方は、後ろの扉からご退出のほど、お願いします。

委員の皆様、最後に事務局から連絡事項があるということなので、もう少しお待ちください。

(傍聴者退室)

○澤松制度調整担当課長 委員の皆様、ありがとうございます。

今後の予定について事務局からご説明いたします。

二次評価につきましては、本日決定していただいたとおりとし、評価コメントについては、本日の委員会でのご議論も踏まえまして、最終的な評価コメントを整理し、別途ご報告させていただきます。また、二次評価を踏まえまして、所管局として、この後、最終評価を決定いたします。その後、8月中をめどに各指定管理者に評価結果を通知し、9月中旬頃に東京都全体で一斉に指定管理者の評価結果をプレス発表する予定です。プレス発表資料は、本日の二次評価結果を基に作成いたしますが、「S」「A」「B」といった評価結果を意識した記載など、公表時の文言は事務局で多少調整させていただく可能性もありますけれども、その旨ご了承いただければと思います。公表用の資料につきましても、プレス発表前に、委員の皆様にご報告させていただきたいと考えてございます。

令和6年度指定管理者評価に関する今後の予定につきましては、以上でございます。

それでは、最後になりますけれども、事務局を代表いたしまして、公園緑地部長の本木より一言ご挨拶をさせていただきます。

○本木公園緑地部長 閉会に当たりまして、一言、挨拶をさせていただきます。

委員の皆様におかれましては、各評価委員会を通じまして、熱心にご議論いただき、誠にありがとうございました。

また、大変暑い中の区部・多摩部の現場確認も含めまして、6回にわたりまして委員会を開催させていただくなど、評価対象施設が大変多く、大変ご苦労をおかけいたしましたと思っております。ありがとうございます。

また、各施設についての的確なご評価、さらなる事業発展への貴重なご提案をいただくなど、今後の管理運営にとって大変貴重なご意見をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

私どもといたしましても、都立公園を取り巻く社会状況が変化していく中で、各公園の個性を生かしながら、常に都民ニーズを踏まえたアップデートに取り組むことが重要だと考えております。

これからの都立公園の目指す姿を明確化いたしまして、指定管理者の創意工夫を引き出すことで、今後も魅力あふれる公園づくりを行っていきたいと考えております。

委員の皆様には、引き続きのご指導を賜りますようお願いし、お礼のご挨拶とさせていただきます。このたびは本当にありがとうございました。

○澤松制度調整担当課長 それでは、以上をもちまして、都立公園等指定管理者評価委員会を終了いたします。委員の皆様、誠にありがとうございました。

これにて散会といたします。ありがとうございます。

——了——